

射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略
～選ばれるまち快適安心居住都市 いみず～
平成 30 年度進捗状況報告書

令和元年 9 月
射 水 市

目 次

1	報告書策定の趣旨	1
2	評価の方法	2
3	人口の状況	2
4	数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況	4
5	平成30年度地方創生推進交付金事業の効果検証	12
6	次期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について	14

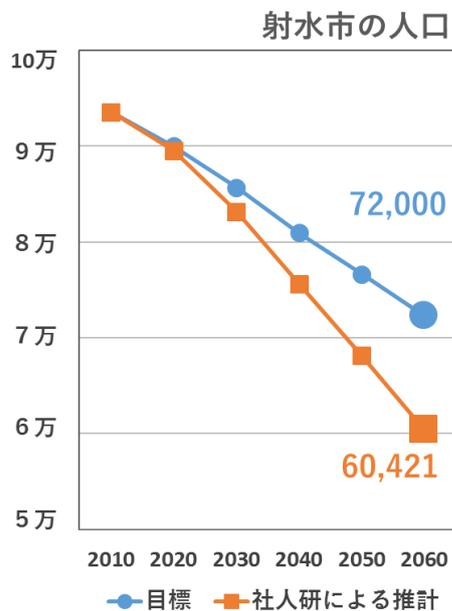
1 報告書策定の趣旨

本市では、平成27年10月に人口減少の克服と地域活性化による地方創生を強力に進め、将来にわたって活気に満ち、市民が夢と希望を持てる射水市を創るため、「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」）を策定した。

総合戦略は、4つの基本目標にそれぞれ数値目標を、施策には重要業績評価指標（KPI）を設定しており、毎年度、射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会において、施策の効果検証等を行い、必要に応じて総合戦略の見直しを行うこととしている。

今回は、平成30年度の進捗状況について報告するものである。

基本的な考え方



POINT 1

射水市の人口推計（2060年）

60,421人

人口減少と地域経済の縮小の悪循環

POINT 2

将来にわたって活気に満ち、
市民が夢と希望を持てる射水市を創る。

射水市まち・ひと・しごと
創生総合戦略の施策の推進

POINT 3

人口**72,000**人を目指す

基本目標

1

結婚・出産・子育て・子どもの学びの
環境づくり

基本目標

2

地域のしごとづくり

基本目標

3

市の魅力を内外に発信し、
新しい人の流れづくり

基本目標

4

安全で安心して暮らせる
時代に合ったまちづくり

2 評価の方法

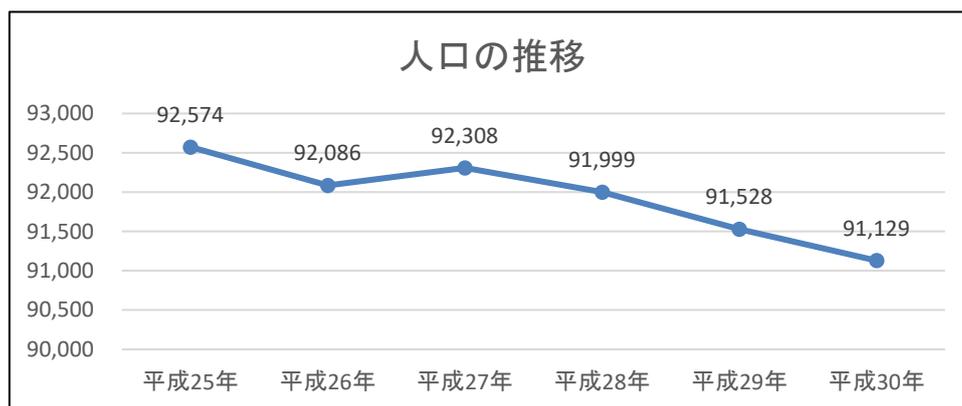
射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を客観的に検証するため、数値目標及び重要業績評価指標を（KPI）を下記の5段階で評価を行う。

- | | |
|--------|--------------------------------|
| ① 達成 | ・・・最終年度の目標値を達成している。 |
| ② 順調 | ・・・目標値に対して基準値からの進捗率が80%以上 |
| ③ 概ね順調 | ・・・目標値に対して基準値からの進捗率が40%以上80%未満 |
| ④ 維持 | ・・・目標値に対して基準値からの進捗率が40%未満 |
| ⑤ 遅れ | ・・・基準値を下回っている。 |

3 人口の状況

(1) 人口の現状

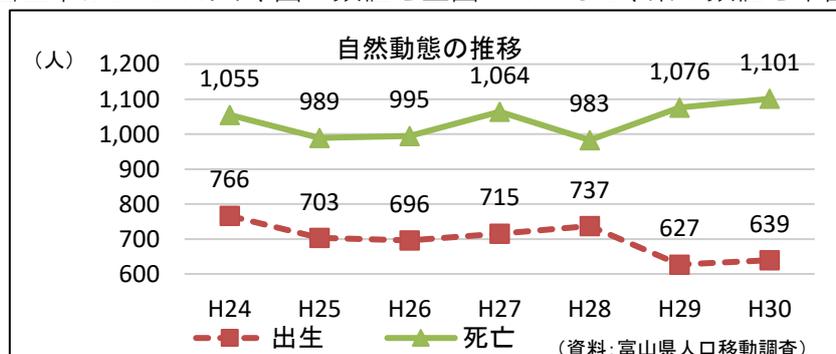
平成30年10月1日現在の本市の総人口は91,129人で、前年と比較して399人、0.4パーセントの減となった。また、国立社会保障・人口問題研究所が、平成27年度の国勢調査等に基づき試算した最新の人口推計によると、2060年時点の射水市の推計人口は61,833人で、人口ビジョン策定時（60,421人）よりも若干の増となった。



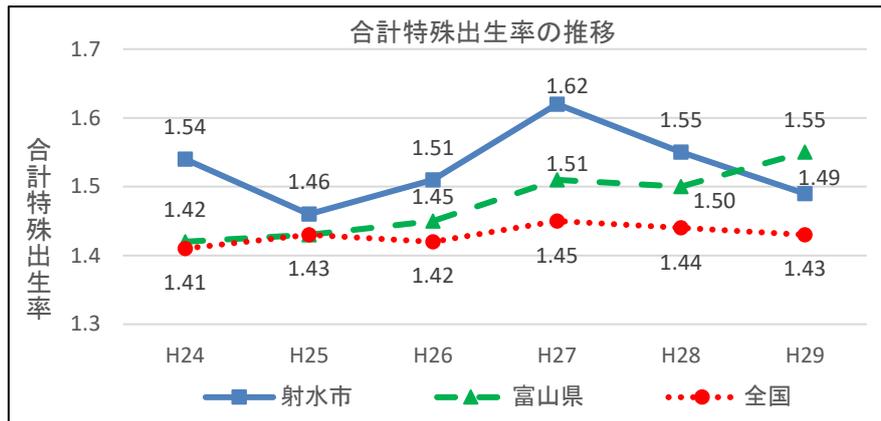
(資料：富山県人口移動調査)
※平成27年は国勢調査

(2) 自然動態

平成30年の出生者数は639人で、前年と比べ増加となった。一方、死亡者数も1,101人と増加し、自然動態は462人のマイナスとなった。また、平成29年の合計特殊出生率は1.49であり、国の数値を上回っているが、県の数値を下回っている。

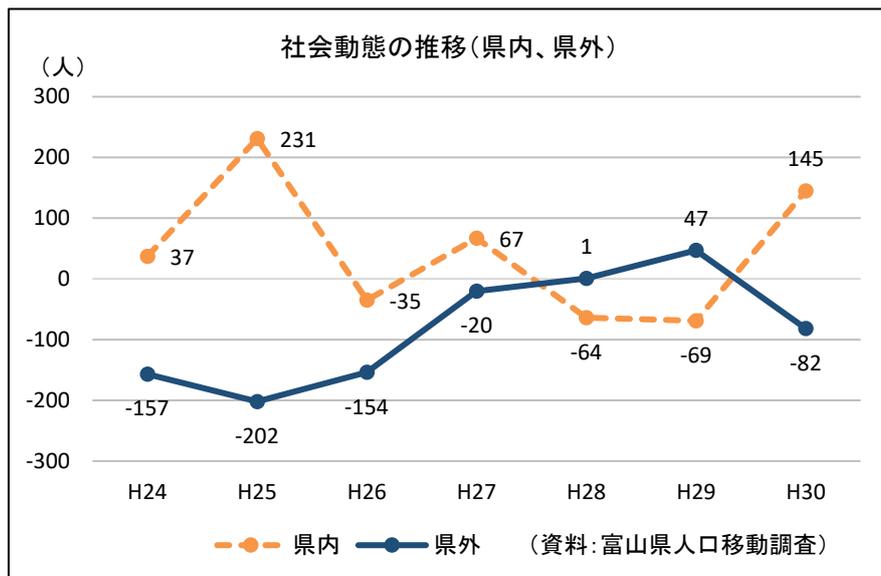
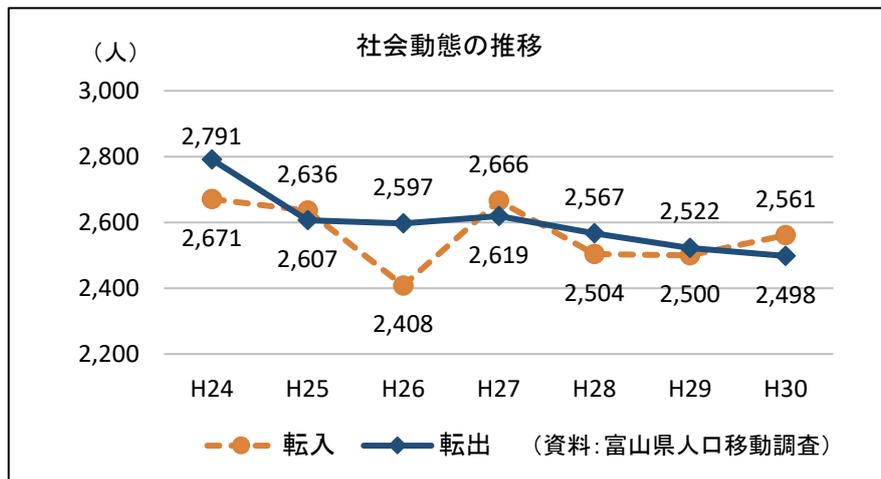


(資料：富山県人口移動調査)



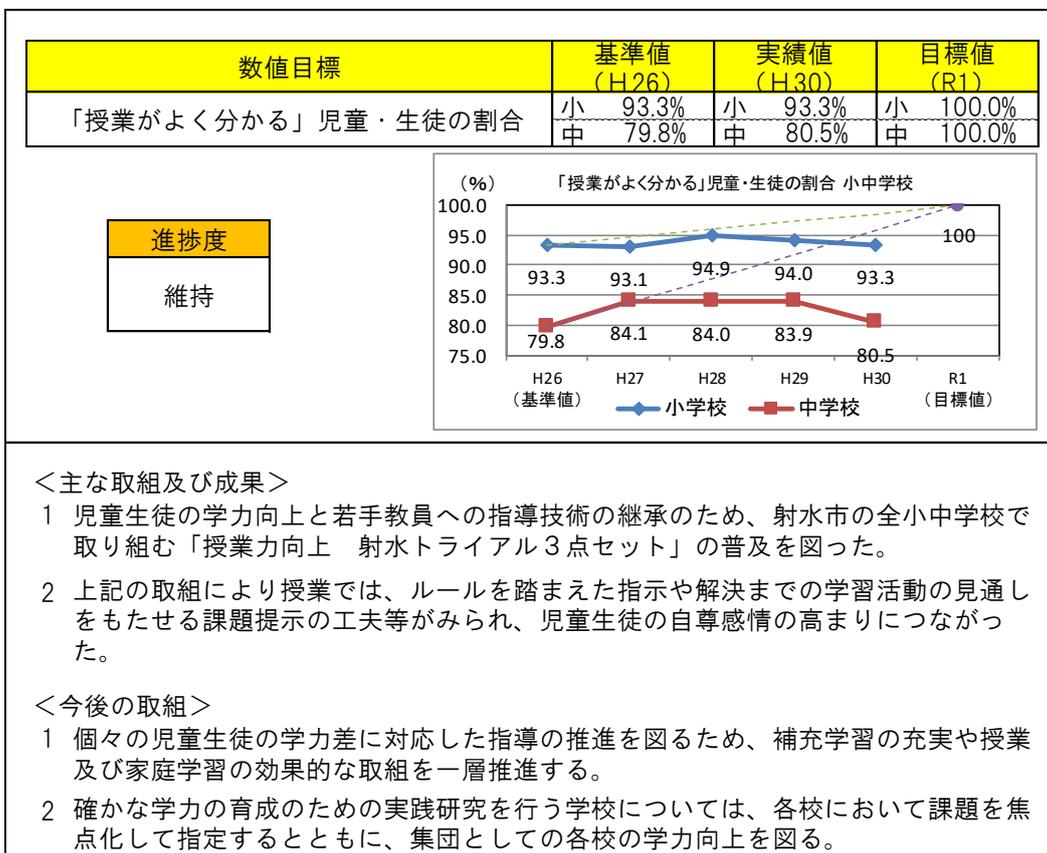
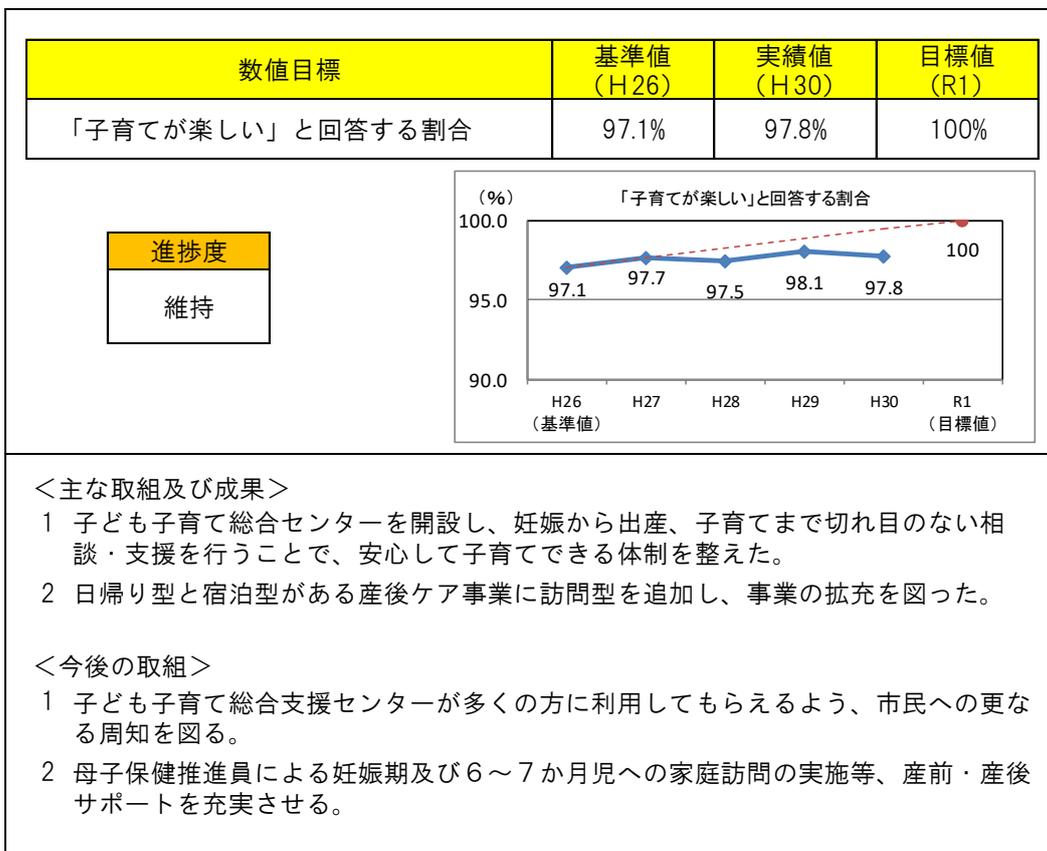
(3) 社会動態

平成30年度の転入者数は2,561人で、転出者数の2,498人を上回り、社会動態は63人のプラスとなった。また、県内・県外別の移動では、県内で145人の転入超過、県外で82人の転出超過であった。



4 数値目標及び重要業績評価指標の進捗状況

基本目標1 結婚・出産・子育て・子どもの学びの環境づくり



重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	4	0	2	4	2

※小学校、中学校で区別されているものは分けて計上

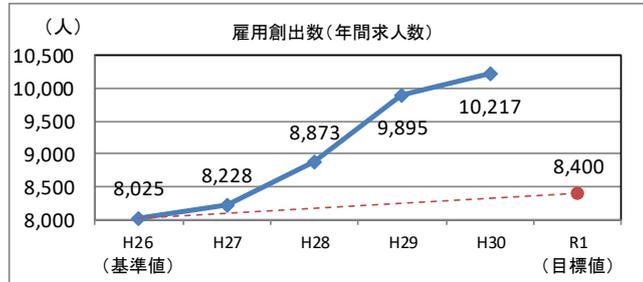
KPI		基準値 (平成26年度)	実績 (平成30年度)	目標値 (令和元年度)	進捗
1	男女出会いイベント数	0 件	4 件	2 件	達成
2	休日保育実施保育園数	9 園	9 園	10 園	維持
3	子育て支援センターの年間利用者数	46,752 人	50,122 人	53,000 人	概ね順調
4	子育て情報ちやいる.comへのアクセス数	— 件/年	99,569 件/年	58,000 件/年	達成
5	3歳6か月児健康診査の受診率	98.6 %	99.2 %	100 %	概ね順調
6	家庭学習の1日当たり時間が「10分間×学年」以上の児童・生徒の割合	(小学校)86.4 %	(小学校)88.2 %	(小学校)100 %	維持
		(中学校)57.5 %	(中学校)68.3 %	(中学校)100 %	維持
7	地域の行事に参加している児童・生徒の割合	(小学校)81.1 %	(小学校)79.3 %	(小学校)83.0 %	遅れ
		(中学校)58.7 %	(中学校)61.2 %	(中学校)60.0 %	達成
8	不登校児童・生徒数 小中学校	(小学校)42.0 人	(小学校)32.0 人	減少	達成
		(中学校)53.0 人	(中学校)63.0 人	減少	遅れ
9	家庭教育に関する講座・学習会の参加者数	971 人	997 人	1,050 人	維持

- 「男女の出会いイベント数」については、婚活サポーターズクラブ主催のイベント2回に加え、民間団体によるイベントが2回開催され、9組のカップルが誕生した。
- 「子育て支援センターの年間利用者数」については、射水市子ども子育て総合支援センターに機能を集約し、土曜日にも開所することで、保護者が利用しやすい環境づくりが行われ、利用者数が増加した。
- 「子育て情報ちやいる.comへのアクセス数」については、スマートフォンに最適化したサイト構成に改修し、利便性の向上を図った。
- 「3歳6ヶ月児健康診査の受診率」については、子育て支援アプリにおける案内配信や、検診未受診者への訪問や電話による受診勧奨を行ったことで受診率が向上した。
 今後は、子ども子育て総合支援センターのサービス向上やちやいる.comのコンテンツ拡充、また休日保育実施のため保育士確保に努め、子育て支援の充実を図る。また、多様な人々との関わりを通じた「ふるさと」教育を推進し、「豊かな人間関係づくり支援事業」の推進及びマイサポーター制度の充実により、児童生徒の自尊感情を高める学級集団づくりを進める。

基本目標 2 地域のしごとづくり

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H30)	目標値 (R1)
雇用創出数(年間求人数)	8,025人	10,217人	8,400人

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

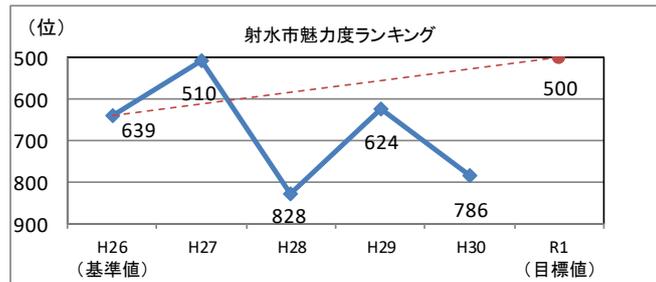
- 全国的に有効求人倍率が上昇する中、富山県及び高岡管内の有効求人倍率が全国平均を上回った。
※高岡管内有効求人倍率：H28年度1.72、H29年度1.98、H30年度2.13（富山県1.95、全国平均1.63）

<今後の取組>

- 合同企業説明会参加支援について、補助対象を三大都市圏から県外に拡充したところであり、制度の周知と活用の促進に努める。
- ハローワーク及び商工団体と連携し、引き続き「射水市合同企業説明会」を開催する。

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H30)	目標値 (R1)
射水市魅力度ランキング	639位	786位	500位以内

進捗度
遅れ



<主な取組及び成果>

- 東京、名古屋、長野県等の県内外で、観光及び特産品のPRのため、出向宣伝や各種物産展等への参加を積極的に実施し、射水の魅力発信に取り組んだ。

<今後の取組>

- 首都圏及び北陸新幹線沿線地域等での出向宣伝や物産展等に参加し、魅力発信する。
- 射水市観光振興計画に基づき、各種施策に取り組み、本市の魅力度を高める。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	3	1	1	3	2

※女性、男性で区別されているものは分けて計上

KPI	基準値 (平成26年度)	実績 (平成30年度)	目標値 (令和元年度)	進捗
10 市内企業団地分譲率	96.0 %	97.6 %	100 %	概ね順調
11 創業者数	8 件	5 件	20 件	遅れ
12 産学官金連携共同研究の年間件数	4 件	14 件	15 件	順調
13 射水産特産品通販販売品目	35 品	35 品	45 品	維持
14 6次産業化推進案件数	0 件	0 件	2 件	維持
15 養殖サクラマスの年間売上高	0 千円	11,912 千円	60,000 千円	維持
16 育児休暇取得率	(女性)73.9 %	96.9 %	(女性)77.6 %	達成
	(男性)1.0 %	18.9 %	(男性)5.0 %	達成
17 中小企業退職共済加入者数	3,494 人	3,759 人	3,672 人	達成
18 人材確保充足数	1,799 件	1,601 件	1,900 件	遅れ

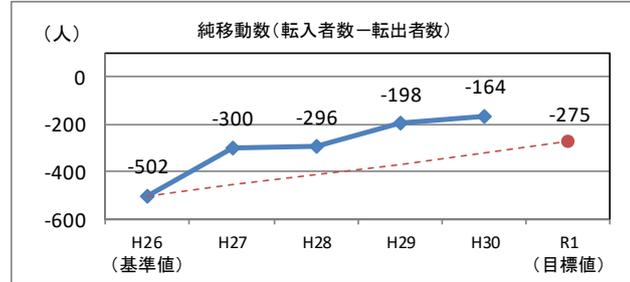
- 「市内企業団地分譲率」について、未分譲用地への企業進出を促すため、本市の特性や企業ニーズを踏まえ、企業立地助成金制度を拡充した。
- 「創業者数」については、「創業者支援事業補助制度」で行った融資の件数を計上していることから減少しているが、「創業支援事業補助金」は13件の支援を行っており、創業者数は増加している。
- 「産学官金連携共同研究の年間件数」については、とやま呉西圏域連携事業において「ものづくり開発・経営支援セミナー＆相談会」を実施し、圏域内企業が県内研究機関へ相談できる機会を設けた。
- 「育児休暇取得率」について、企業状況調査の公表や広報等で育児休暇取得の促進を図った結果、取得率が年々上昇している。特に男性の取得率増加が著しく、制度の周知が進んでいると思われる。
- 「中小企業退職共済加入者数」については中小企業退職者共済制度のリーフレットの設置や広報による制度の周知に加え、中小企業者に共済掛金の補助を行ったことにより、加入者数が増加した。

基本目標3 市の魅力を内外に発信し、新しい人の流れづくり

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H30)	目標値 (R1)
純移動数(転入者数-転出者数)	△502人	△164人	△275人

※直近5年間の累計

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

- 1 首都圏及び関西圏でのプロモーション活動や情報発信に取り組んだ。

<今後の取組>

- 1 呉西6市による移住サポートステーションの設置や空き家情報バンクへの物件登録の強化により、若者の定住やUJターン促進に努める。
- 2 外国人旅行者を含む個人旅行者の誘客強化や、内川の魅力を高める取組を進めるなど、より多くの人々が本市を訪れるよう様々な施策を展開する。

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	8	1	2	0	3

KPI	基準値 (平成26年度)	実績 (平成30年度)	目標値 (令和元年度)	進捗
19 移住制度を活用して県外から移住した人数	5人	46人	10人	達成
20 移住交流施設の利用率	43.1%	50.8%	45.0%	達成
21 指定宅地における建築率	79.7%	83.5%	83.4%	達成
22 若者世帯定住促進家賃補助制度を利用して、市外から転入した人数	0人	37人	21人	達成
23 住宅相談窓口利用者数	50件	36件	60件	遅れ
24 空き家の有効活用支援件数	0件	1件	1件	達成

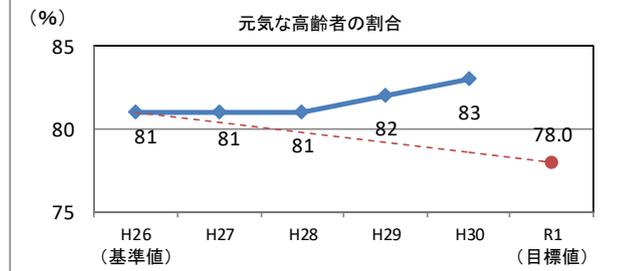
KPI		基準値 (平成26年度)	実績 (平成30年度)	目標値 (令和元年度)	進捗
25	ロケ地来訪者(川の駅)数	35,439 人	45,835 人	50,000 人	概ね順調
26	海王丸パーク周辺入込数	1,559,200 人	1,767,400 人	1,700,000 人	達成
27	コミュニティバス等乗車人数	394,302 人	418,572 人	400,000 人	達成
28	万葉線乗車人数	1,253,912 人	1,192,041 人	1,258,000 人	遅れ
29	市内企業に就職したい学生の割合	— %	50.7 %	68.0 %	概ね順調
30	学生訪問支援事業の参加学生の満足度	— %	97.2 %	97.5 %	順調
31	合同企業説明会の学生参加者数	66 人	18 人	84 人	遅れ
32	市のまちづくりについて「関心がある」と答える学生の割合	20 %	63 %	25 %	達成

- 「移住制度を活用して県外から移住した人数」について、空き家情報バンクや射水移住支援事業補助金等の利用件数が増加し、移住につながっている。また、内川周辺を移住者受入モデル地域として指定し、移住者受入促進計画を策定した。
- 「指定宅地における建築率」について、住宅金融支援機構と連携した住宅ローン「フラット35」の金利引下げの取組において、平成30年6月から空き家情報バンクに登録された指定宅地も新たに対象項目として追加するなど、更なる事業の推進を図った。
- 「空き家の有効活用支援件数」について、今後の空き家等の活用策や老朽空き家等の対策を総合的かつ計画的に推進するため「射水市空家等対策計画」を策定した。また、老朽危険空き家等の解体を促進し、解体後の跡地活用を支援するため、経費の一部を助成している。
- 「海王丸パーク周辺入込数」について、平成30年度は富山新港開港50周年であり、海王丸パーク周辺を会場として各種イベントが開催されたほか、海王丸パークに展望広場が完成したことで入込数が増加した。
- 「コミュニティバス等乗車数」については、通勤・通学の利便性を向上させた快速便の運行に加え、新湊地区センター、射水市民病院、本庁舎、小杉駅南口、パスコ前を結ぶ路線を新設するなどの路線の見直しなどにより、乗車数が増えている。
- 「市内企業に就職したい学生の割合」について、平成28年度から実施している「いみず企業見学バスツアー」の参加要件を緩和し、就職活動生以外も参加できるようにした。大学生だけでなく高校生の参加も見られ、市内企業をPRするよい機会となっている。

基本目標 4 安全で安心して暮らせる時代に合ったまちづくり

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H30)	目標値 (R1)
元気な高齢者の割合 (要介護認定等を受けていない者の割合)	81%	83%	78%

進捗度
達成



<主な取組及び成果>

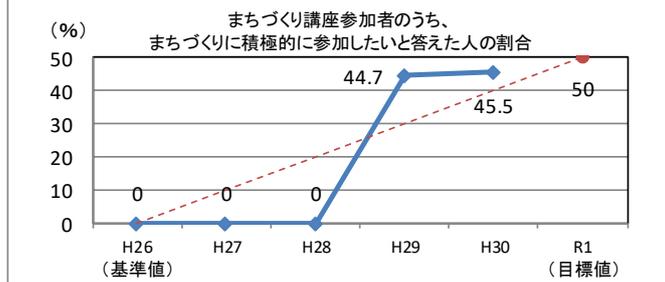
- 1 介護予防効果のある「きららか射水100歳体操」を導入し、出前講座の実施や継続グループの支援を行い、普及啓発に努めた。
- 2 軽度認知障害高齢者を早期発見し、早期治療につなげるとともに予防についての正しい知識の普及啓発を図る「脳いきいき健康講座」を実施した。

<今後の取組>

- 1 骨粗しょう症予防のためのDVDを作成し、「きららか射水100歳体操」と合わせて活用することにより、更なる健康づくりに取り組む。
- 2 「きららか射水100歳体操」の目標人数（継続者数：2,700人）に向け、一層の普及に努める。

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H30)	目標値 (R1)
まちづくり講座参加者のうち、まちづくりに積極的に参加したいと答えた人の割合	なし	45.5%	50%

進捗度
順調



<主な取組及び成果>

- 1 まちづくりの活動を見て、体験する「射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～」を実施し、まちづくりに参画する市民の裾野を広げるよう努めた。

<今後の取組>

- 1 民間活力を導入し、まちづくりへの理解を広め、参画意識を高めていく事業を実施する。
- 2 地域に対する愛着を深め、まちづくりに積極的に参加しようとする機運の醸成に努める。

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

進捗度	達成	順調	概ね順調	維持	遅れ
件数	5	2	0	2	1

KPI	基準値 (平成26年度)	実績 (平成30年度)	目標値 (令和元年度)	進捗
33 講座参加者のうち、積極的に「地域デビュー」したいと答えた人の割合	0.0 %	88.1 %	50 %	達成
34 総合患者満足度数	4.04 点	4.13 点	4.07 点	達成
35 防災士取得者数	64 人	109 人	114 人	順調
36 消防団員数	728 人	707 人	757 人	遅れ
37 エコアクション21認証取得	13 社	15 社	22 社	維持
38 まちづくり講座受講者数	0 人	22 人	200 人	維持
39 見直しする公共施設数	14 件	32 件	28 件	達成
40 ICカードの多目的利用業務数	0 業務	4 業務	5 業務	順調
41 コンビニ交付利用可能箇所数	0 箇所	41 箇所	40 箇所	達成
42 連携して取り組む事業数	0 件	32 件	29 件	達成

- 「総合患者満足度数」について、射水市民病院の診療等耐震化整備事業が完了し、施設整備や環境面が向上した。また、患者と直接対応する看護職員を中心に接客等の研修を実施し、患者の満足度向上に努めた。
- 「防災士取得者数」については、平成28年度に射水市防災士連絡協議会を設立し、防災士相互の交流・協力体制を構築したほか、個々のスキルアップに取り組んだ。各防災士は地域での自主防災活動に参画し、地域防災力の強化に努めた。
- 「見直しする公共施設数」について、平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画に基づき、平成30年度末には公共施設再編方針（案）を公表した。また、実情に合わない施設の使用料金等について「使用料・手数料の適正化に関する基本方針」を作成し、平成31年4月から使用料・手数料の改定を行った。
- 「ICカードの多目的利用数」では、全国のコンビニエンスストアで住民票の写し等の証明書を取得できるサービス、子育てに関する申請や届出など15の手続きをオンラインで行えるサービス、射水市内4つの図書館において図書館利用カードとして利用できるサービスに加え、自治体ポイントによって射水市の特産品が購入できるサービスが平成30年7月から導入され、4業務になった。今後、消費税増税に伴う消費活性化策として、国においてプレミアムポイントのサービスが予定されており、実施に向けて検討を進める。

5 平成30年度地方創生推進交付金事業の効果検証

平成30年度に国の地方創生推進交付金を活用した事業は、以下のとおりです。

①完全養殖サクラマスローカルブランディング創出事業

事業費 45,869千円
 交付金額 22,004千円

<事業概要>

純射水産養殖サクラマスの価値観の向上を図るため、試食会等の実施による販路拡大、JR西日本との商品開発、企業マッチングによる販路拡大のための商談会への参加、展示会出展を行う。また、市場価格の決定のための調査、ユーザーに適応した生産体制の確立のための調査を行う。

養殖施設診断の結果、陸上養殖に必要な水量の確保がなされていないことが判明していることから、新たに海面蓄養(養殖)試験に着手し、その生産量の増強と、大型市場化を狙う。

軌道に乗った事業運営のため、マーケティングも含めた経営診断及び、サクラマスのプレミアム化を含めた商戦、売り込みの展開を行い、稼ぐ力と継続するビジネスを再度検証し、自立に向けた展開を進める。

地域に立脚した生産システムを確立し、ローカルブランディングを創出し、関連する専用米づくりや魚醤製造、熊笹生産や幻のますの鮨製造等を含めた労働生産性の向上を図り、若者の一次産業への積極参入、良質な雇用により地方の自立に結ぶことを目標とする。

KPI		H29	H30	R2
純富山産サクラマス(陸上養殖)の年間売上高(千円)	目標値	16,000千円	32,000千円	60,000千円
	実績値	10,108千円	11,912千円	
鮭専用米作付面積(a)	目標値	60a	120a	1,200a
	実績値	50a	50a	
養殖サクラマス取扱店(店舗)	目標値	4店舗	8店舗	10店舗
	実績値	29店舗	66店舗	
海面蓄養(養殖)サクラマス売上高(千円)	目標値	0千円	6,000千円	45,360千円
	実績値	0千円	63千円	

<主な取組及び成果>

- 1 純富山産サクラマス(陸上養殖)の年間売上高については、計画どおり生産したものの、将来にわたって安定的に供給する店舗を確保するため、生産されたサクラマスをテストマーケティングとして一部無償提供等したため、売上高としては達成していない。一方、このテストマーケティングの効果もあり、取扱店舗数の目標は大幅に達成している。安定的な取扱店舗を確保し、生産から販売までのビジネスモデルを確立している。
- 2 販路拡大のため、首都圏などでのPR活動、東京アンテナショップでサクラマスフェアの実施等を行うとともに、JR西日本と連携協定を締結した。
- 3 鱒寿司専用米の生産、里山再生とあわせた熊笹の生産、魚醤の製造を行った。
- 4 平成30年度の出荷尾数が16,966尾であり、1万尾の目標を達成した。

<今後の取組>

- 1 軌道に乗った事業運営のため他の関連事業のマーケティングも含めた経営診断及びサクラマスのプレミアム化を含めた商戦、売り込み展開を行い、稼ぐ力と継続するビジネス展開を検証する。
- 2 海上養殖を実施し、生産量の増強と大型市場化を目指す。

②「海のあるスイス」をめざすALL富山観光プロジェクト

事業費 2,577千円
 交付金額 1,288千円

<事業概要>

平成28年5月に日本版DMO候補法人として登録された(公社)とやま観光推進機構を中心に、「選ばれ続ける観光地 富山」を目指し、官民一体となって「マーケティング＝売れる仕組みづくり」と「ブランディング＝上質なライフスタイルのブランドイメージの確立」に重点的に取り組む。

- 戦略的な観光地域づくり・広域観光の拠点化
- 富山らしい魅力創出・戦略的なプロモーション
- 美術館・博物館・芸術文化施設等の魅力向上・発信による誘客促進
- 首都圏等での戦略的情報発信による富山のブランド力アップ
- 季節に応じた富山の食の魅力の発信・イベント開催等を通じた「食のとやまブランド」の確立

KPI		H29	H30	R2
富山県全体の観光消費額(億円)	目標値	1,851億円	1,959億円	2,110億円
	実績値	1,561億円	集計中	
首都圏のアンテナショップへの来館者数(人)	目標値	900,000人	1,000,000人	1,150,000人
	実績値	698,000人	691,000人	
県立美術館等の年間来館者数(人)	目標値	450,000人	470,000人	520,000人
	実績値	1,554,012人	集計中	

<主な取組及び成果>

知名度・魅力度向上、観光客の誘致促進を図るため、(公社)とやま観光推進機構が中心となり、県内15市町村が県とタイアップして戦略的な観光地域づくりに向け、各種マーケティングデータに基づく事業を推進した結果、県及び県内市町村と連携し、オール富山で戦略的な魅力発信を行うことができた。

<今後の取組>

とやま観光推進機構(日本版DMO)の取組が県全体の地域経済活性化につながるよう、連携自治体・市町村観光協会・観光事業者等と協力の上、特に射水市の観光振興施策に取り組む。

6 次期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

(1) 改定の概要

① 総合戦略について

国が示す新たな視点を取り入れ、県の動向も踏まえながら、令和2年度から5年間の計画期間とする次期射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に取り組む。

② 人口ビジョンについて

国及び県の動向を踏まえ、時点修正等を検討する。

(2) 今後の日程（案）

8月29日（木）	第1回本部会議（現総合戦略の進捗報告）
9月 2日（月）	第1回推進委員会
9月中	地方創生に関するアンケート調査の実施
10月中	第2回幹事会（次期総合戦略の検討） 第2回本部会議
11月	第2回推進委員会
12月	12月議会にて次期総合戦略（骨格）の説明
1月	第3回幹事会（次期総合戦略の素案の検討） 第3回本部会議 第3回推進委員会
2月	パブリックコメントの実施
3月	3月議会にて最終案の説明